

稲グリ新聞

(発行) 早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ
〒169 東京都新宿区西早稲田
1-1-7早稲田文化センター内
TEL.(03) 3208-2711

(編集) 加藤晴生
類原信二郎
佐々木豊子
石川 了
〒208 武蔵村山市大南
2-26-12類原信二郎方
TEL.(0425) 65-1839
(毎月1回発行) 定価100円

バルト三国、フィンランドに決定!!

創立四十周年記念事業・来年五月の海外演奏旅行

第五回、第六回幹事会・議事報告

◆第五回 四月十七日(金)
十八名出席

◆第六回 五月十三日(水)
十九名出席

五回、六回と継続審議のものに
ついては、第六回の内容に含めま
した。以下、報告いたします。

幹事長 加藤晴生(三七)

1. 議事

◆第二十四回定演関係
(1) スタッフを決定
総括 加藤晴生(三七)
チーフマネ(総務、広報)
会 計 類原信二郎(四二)
石原 祥弘(三五)
チケツト 清水 実(三八)
土岡 一郎(五三)

(2) *今後若干の変更もあり。
演奏部門ミーティングの開
催。安齋マネ担当。

(3) ① 第四ステージ最終曲(田
中宏指揮)案として、「新
世界より」「ウ・ボー」
「最上川舟歌」「野ばら」
等が提案されたが、安齋マ
ネが中心となり、調整して

地方・合宿
小俣 泰英(三八)

演奏マネージャー
安齋 真治(四七)

ステージ構成
北代 博(二九)

練習 阿部 滋(五七)

プロ、チラシ、チケ制作
徳田 浩(三一)

記念パーティー
佐々木 豊(五九)

清水 卓爾(四〇)

小林 幹郎(六〇)

決める。

② アンコールの最後は「校
歌」とする。「早稲田の栄
光」も作曲後四十年になる
ことから、これをどう扱う
か検討する。

③ 北代さんより第四ステー
ジ構成についての考え方が
述べられた。(第二面参照)

④ セミアンコールとして大
阪稲グリ須賀敬一さん(三
〇)の指揮による「紺碧の
空」も予定する。

⑤ 定演予算、開演時間等
継続審議

⑥ 記念パーティー入場料
シングル券 男七、〇〇〇円
女四、〇〇〇円
アイディアを募集していく。

2. 海外演奏旅行について
一九九三年の稲グリ四十年
記念海外演奏旅行の訪問先を、
バルト(タリン、リガ)及びフ
ィンランドに決定。
期間は、五月一日から八日又は
九日。

3. 高崎市婦女合唱団(台湾)招
へいについて
四十周年記念行事の一環とし
て、八六年稲グリ台湾演奏旅行
で共演した同合唱団を招き、本
年十一月下旬の土曜日又は休日
の午後、演奏会を開催する。但
し、五〇〇〇名以上の会場を
確保することが条件となる。
(承認)

4. その他
▼OB会費の三月末振込入金は、
諸手数料差し引き後二九二万円
であった。うち、二五〇万円が
定期預金よりも五倍のメリット
がある中期国債ファンドを購入
する。
▼愛唱歌集第二巻の発行部数は、
五〇〇とする。
▼新名簿の発行部数は、二〇〇
とする。

▼新団旗のデザインを検討決定。
以上

稲グリ・活動日程

5月17日(木)	学生の家	18:30~21:00	雨(堀指揮者)
18日(土)	奉仕園sec	16:00~20:00	Negro, 十の詩曲
6月2日(火)	学生の家	18:30~21:00	十の詩曲
6日(土)	奉仕園(4)	18:00~21:00	特ステ曲
7日(日)	特ステ	熱海道遙祭	熱海市観光会館
		打上げ~熱海後楽園ホテル	
9日(火)	学生の家	18:00~21:00	Negro
16日(火)	"	"	"
21日(日)	奉仕園sec	14:00~18:00	Negro, 雨
23日(火)	学生の家	18:30~21:00	雨(堀指揮者)
30日(火)	"	"	十の詩曲
7月7日(火)	"	"	"
14日(火)	"	"	記念ステージ曲
18日(土)	奉仕園	17:00~20:00	十の詩曲
19日(日)	場所未定	10:30~16:00	Negro, 雨(堀)
21日(火)	学生の家	18:30~21:00	記念ステージ曲
28日(火)	"	"	Negro
8月11日(火)	夏休み(この日のみ練習休み)		
22日(土), 23日(日)	特別練習 時間、場所未定。		
9月5日(土)~6日(日)	「定演強化合宿」河口湖サニービレッジ		
10月3日(土)	第24回・稲グリ定期演奏会	東京芸術劇場	
	「打上げ」サンシャインシティ・プリンスホテル		
9日(金)	特ステ	神奈川県稲門会	(横浜)
18日(日)	特ステ	早稲田校友大会	大隈庭園
11月下旬	高崎市婦女合唱団	来日公演企画	(会場未定)
12月未定	平成4年度「総会」		
	第11回グリーンクリスマス		(会場未定)
19日(土)	コーラス・イン・マリオン	朝日ホール	

2.

海外演奏旅行について
一九九三年の稲グリ四十年
記念海外演奏旅行の訪問先を、
バルト(タリン、リガ)及びフ
ィンランドに決定。
期間は、五月一日から八日又は
九日。

3. ニューヨーク稲門会の尽力に
より、五月四日にカーネギーホ
ールを仮予約したが、最近の米
国情勢、特にロスアンゼルス暴
動に関連して、一〇〇人以上の暴
家族同伴団体の訪米には安全面
で問題があり、九三年度はこれ
を見送る。

*準備資金として稲グリ会計か
ら一〇〇万円を計上。これに今
後の特ステ収入を極力加える。

出席記録

	4/21	28	5/12
T ₁	16	14	17
T ₂	12	13	16
B ₁	13	14	21
B ₂	24	24	18
	65	65	72

練習出席状況

◎久々登場メンバー

T₁ 金子 真さん(五七)
T₂ 玉川 哲郎さん(四四)
B₁ 井口 肇さん(五七)
B₂ 武藤 辰彦さん(四四)
青木 伸行さん(六一)

【ハミダシ情報】五月九日(土)夜、サントリーホール小ホールで江藤純子ピアノの世界「音楽のバイバース」パートIIが開かれ、徳田浩さん(三一)ら早大グリーンOBを中心とする「ローガンD・X」なる十四名の男声合唱団が活躍、好評を博した。

「ハミダシ情報」グリー屈指のエンターテイナー・岩淵靖安さん(五八)が六月十三日(土)、平泉にて下田真由美さんと合唱団内(東響コーラス)結婚ゴールイン。なお、翌十四日(日)に有楽町にて発表披露宴会あり。祈御多幸

サムシング・ニュー 創立四十周年記念ステージの構成、演出プランについて

定演ステージ構成担当 北代 博(二九)



「ハミダシ情報」グリー屈指のエンターテイナー・岩淵靖安さん(五八)が六月十三日(土)、平泉にて下田真由美さんと合唱団内(東響コーラス)結婚ゴールイン。なお、翌十四日(日)に有楽町にて発表披露宴会あり。祈御多幸

《40周年記念ステージ(案)》 稲グリ・オン・パレード (司会)柿沼郭・NHKアナ

- ① 「Sailing Sailing」稲グリ 指揮 耕納邦雄
 - ② 「Rail Road」〃(未定～会場のお客様と一緒に歌えるポピュラーな曲)
 - ③ 「この道」山本健二ソロ
「松島音頭」〃
(うち一曲は稲グリと一緒に)
 - ④ 「ボックリーニのメヌエット」ボニー・ジャックス
「未定」〃
 - ⑤ 「ウインわが街」岡村喬生ソロ(稲グリ合唱付)
「未定」〃
 - ⑥ 「遙かな友に」指揮 磯部 徹
 - ⑦ 「未定」稲グリ(大締めに対応しい曲)
指揮 田中 宏(H4卒)
- ～アンコール～
- ① 「未定」
 - ② 校歌「都の西北」

以上

四ステは、稲グリオン・パレードであります。まず第一に四十周年のお祭であり、祭は陽で賑わしくなければなりません。次に、出演者も指揮者も多士済済であり、曲目もバラエティに富んでおり、下手すれば統一を欠きゴツタ煮になる恐れがあります。なにしろ曲目は十曲にもなり、喋りなどを入れると小一時間はかかります。それをテンポよく流れのある進行にするには、司会の柿沼アナに負うところが大きいです。第三には、会場の一体感というか、出演者は勿論、お客様にもこのお祭に

ノッて、参加してもらおうようなムードが必要です。この為には客席でも一緒に歌ってもらおう曲も用意したいと思えます。最後に四ステだけでなく、ステージ全体のスムーズな流れです。特に各ステージの入退場はキビキビと美しくあってほしいものです。今まで三回ほど稲グリ定演の構成や演出を受け持ちましたが、今回は創立四十周年という節目でもあり、サムシング・ニューに留意し、一歩、いや半歩前進を目標に構成・演出を図りたいと思えます。(きただいひろし・テレビ朝日)

特ステ 第十三回「熱海道遙祭」出演のこと 参加者は各パトリリーダーへすぐに申し出を!

愛唱歌ステージが主体とは言え、早大校友大会と並んで稲グリの名前が確実に定着し、根付いていく上でも大切な特ステとなっております。「熱海道遙祭」が近付きました。参加要領は次のとおりです。奮ってご参加ください。

- 日程、会場
六月七日(日)熱海市観光会館
- 集合時間、場所
午前十一時十五分
JR熱海駅改札口を出たところ
集合次第バスにて会場へ移動。
到着後、昼食、練習。
- ステージ
①ステ 稲グリ(阿部滋指揮)
「校歌」「クラブソング」
②ステ 「紺碧の空」「光る青雲」
③ステ 独唱
岡 健二
山本 範子
萩原 照彦
ピアノ

- ④ステ 稲グリ(阿部滋指揮)
「熱海市歌」
「いざ起て」「君いつ」
「スナナ・ウイル・ビ」
「ダン」(斎太郎)等
全八曲予定。
- 服装 稲グリ制式ユニフォーム
持っている人は横尾マネまで
申し出てください。稲グリ用品
を貸し出します。(有料)
- 終演後、バスにて熱海後楽園ホ
テルへ移動。入浴後打上げ。
会費〓二、〇〇〇円
(後楽園ホテル特製七、〇〇〇
円相当の超豪華宴席料理です
ぞ!)
- 交通費補助〓四、〇〇〇円
以上、よろしく願います。
(担当〓萩原)

プログラム広告ご出稿のお願い

創立40周年記念
第24回稲門グリークラブ定期演奏会プログラム A4判 28頁 3,000部
(サイズ)左右 天地(cm)

■表4、表3(カラー)全頁	21×29.6(以内)	300,000(円)
■本文	1頁	200,000
	1/2頁	18×13(梓付き)
	1/4頁	18×6
		50,000

■お申込み締切=9月1日(火)完全版下にて。
 ■稲グリ・広告担当 萩原(えばら)(42)
 連絡 先=☎0425-65-1839(自宅) (勤)☎03-3202-4407

大阪稲グリだより

ウラOB四連「わくわくコンサート」(8/23)「はロシア民謡 東京から加藤久雄氏(五六)転勤参入して盛り上がる!

大阪稲門出席率No.1を誇るYT V鎌田氏(三五)、酒豪No.1金沢氏(五七)が東京へ行ってしま...

さて、「ひやひや」「はなはな」と続いたウラ四連「関西ワルノリ 大学OB集団」早慶同関：騒動童...

人には全く違う曲に聞こえるかも。この中から二曲を六月二十一日の大阪府合唱祭で歌う。...

実現しないと会社をクビになりますと泣き付いてきた(幹事長談) 今中氏に同情してすぐにホールと...

若シヤチ だより

この秋の諸行事に向けて 静かに充電中

名古屋稲グリ会長 高橋 克(三六)記

昨年五月衝撃的なデビュー以来、各方面から注目され続けてその疲れがどっと出たのか、このところ静かな地味な活動の名古屋です。

の応援、十一月一日東海クロバール組んだ。しかし今秋予定であった念願の第二期定期演奏会は諸般の事情により繰り下げ、来年(平成五年)六月第二土曜日を内定...

翌日は、向川原指揮者より個人の實力レベルアップという厳しい要請があっただけに、午前中三時間の練習は内容の濃い充実したものでありました。

新月会、新「ウ・ボー」決定版を發行 この程、新月会の浅野さん(朝日新聞大阪本社OB)から中野昭さん(二九卒朝日新聞OB)宛に、新月会が自ら「決定版」とする「ウ・ボー」の楽譜が送られてきた。

<第17回早慶交歓演奏会>

1992年6月18日(木) 開場5時/開演5時30分 東京文化会館(上野)

- ◆早稲田大 学グループ クラブ ピアノ及びバリトン独唱のための) 作曲:三木稔 指揮:北川博夫 ピアノ:久邇之宜
◆レクイエム組曲「わがふるさとのうた」 作曲:多田武彦 指揮:矢野誠
◆慶應義塾ワグネル・ソサイエティ 一男声合唱団 作曲:多田武彦 指揮:畑中良輔
◆男声合唱組曲「草野心平の詩から」 作曲:多田武彦 指揮:日笠賢治
◆合同演奏 作曲:R. ワーグナー 指揮:井上久美 伴奏:The 17th So-Kei Symphony Orchestra
チケット:SS 2,500円(指定) S 2,000円(指定) A 1,000円(自由)

「ミタシ情報」蒲田高士さん(六一、日本銀行)が六月十三日(土)、都内で竹中みどりさんと結婚。折御多幸

「ハミダシ情報」川内十郎さん(六一)、静岡新聞)が六月二十七日(土)、静岡市内で佐野升美さん(TV静岡)と結婚ゴールイン。祈御多幸

「よくぞいっしょまで！」 来場のOBも満足、現役六連ワセグリの「ラ・マンチャの男」

現役担当マネ 佐々木 豊(五九)

五月五日、東京文化会館で第四十一回東京六連を聴いた。幸い好天にも恵まれなかなかの盛況。私を見つめるや否や、OB担当マネ・鈴木啓太君が来て一先輩、ちよつと金貸してもらえませんか？二日間何も食っていないんです。二日酔い風車に突っ込むドンキホーテのような無謀さである。腹が波つては戦がでまじい。私は黙って千円(けち?)を差し出した。これが原動力となり、数時間後にワセグリの好演が生まれることとなった。エール交歓、いつも大きい早稲田の音が、今回は下り(六番目)とい

寄稿 松山宏昭君を偲ぶ

「娘よ、これがパパのプレゼントだ」

稲門七夕会というグループがある。終戦直後の混乱期、見渡す限りの焼け野原に残った大隈講堂を舞台に、音楽や演劇を青春のほけ口としていた仲間達の集まりである。稲グリでも十人程の古老がこのメンバーである。故人となったナパプロの渡辺晋やチャリ石黒もこのメンバーであった。その七夕会に演劇関係のメンバーで松山宏昭君がいた。彼の一人娘の結婚披露宴が今年一月二十五日に帝國ホテルで行われ、稲グリ有志がオンステしたのはまだつい先日のように思える。新郎は禅宗の住職で参会者もお坊さんが多かった。司会と同じく七夕会のメンバーで、元NHKのアナウンサー小坂和男君だった。松山君から、嫁ぐ一人娘へのプレゼントに稲グ

リのコラスを贈りたいと、私達に出演の依頼があったのは昨年の暮れであった。この事は父親一人の胸に秘められており、参会者は誰一人これを知らなかった。ホテル側との打合せも無く、何処へ並ぶのかも分からないままユニフォーム姿の面々が会場でウロウロ。これを見た客席はガヤガヤ。長尾さん(二四)の挨拶で、分かったよ。うな分らないようなお客さんの不審そうな眼差しを浴びながら耕納君(三七)の棒が動く。先ずはいざ起て！とお客さんはビツクリ。一レイロロードでは、お二人の幸せが何処までも続くように、と司会のアナウンスがあり、皆さんニッコリ。そして否応無しのアナコール「遙友」でシンミリ。日頃お経でハモッているお坊さん

之宜氏。それに早大ハイソのパーカッションも花を添える。演奏は歌のみならず手拍子や口笛も含めてトリに相応しい上々の出来。ソリストも人材豊富。今年の暮れに第四十回の記念公演が控えているのに、五月のうちにこんな派手なものをやって大丈夫なのかと余計な心配をするくらい良かった。合同は皆川達夫氏指揮「三群合唱のためのミサ」(ガブリエリ)。今年皆川氏が立教大学を定年退職すること、で、まるで送別演奏のような雰囲気。三群の中の二群は早慶が務め、それぞれ左右二階席に整列して熱唱(ミサにはやや不似合いか?)を轟かせた。二階席に聴衆が入って、いなくなった理由がこの時であった。全体としてなかなか印象的な演奏会であった。今後期待したい。

も稲グリの熱演には口あんぐり。「何処のプロだ」と喧けんゴゴ。大喝采を浴びて退場した我々に、大喜びの松山夫妻から予想外のギャラを頂き、これまたビックリ。

その喜びの数か月後(四月二十二日)、突然の知らせに耳を疑った。松山君の奥様からの電話で、「突然の死」を聞かされたのだ。駆けつけたお通夜で、あの特殊のお札を云われ、あの時の故人の喜びようが目に浮かび、遺影が涙で霞むのを拭いきれなかった。嫁ぎ行く一人娘へのプレゼントが、彼の最後の喜びになるうとは、。一本当にいいことをした。これが今になって切実に胸に迫る思いであり、何にも勝る供養であった、と感じているのは私一人ではないと思う。

稲グリからも弔電を贈りました。故人のご冥福を心から祈ります。

T. 津田照通(二二)記

今年も元氣！「超OB会」 鹿児島直送の極上焼酎に舌づみ、鮫島さん寄贈

去る四月十八日(土)、昨年に引き続き「超OB会」が、赤坂の稲門倶楽部で開かれた。今年で六回目を迎えるこの会もすっかり定着。榎木世話役(二六)のもと、合計三十一名もの「超OB」が集まった。今回は欠席の鹿児島在住の鮫島氏(三〇)から贈られたさつま焼酎を飲みながら、「出席したいけど出来ないから会費出席というところで」福岡在住の南足氏(二四)から送られた手紙と写真(と会費)を肴に和気あいあい、昔話から近況報告まで、語らうこと止めどなし。「いざだて」「レイロロード」希望の島「ふるさと」「こんぱき」「はる友」等、コピー楽譜もきちんと用意され、榎木世話役の尽力による、今宵ばかりは現役グリーメン張りの爽やかな喉を披露。丸々二時間半、大いに盛り上がりを見せた。



- 二六 榎木 内田 大倉 小林
 - 二七 天野 中野 山本(茂)
 - 二八 市村 板倉 岩田
 - 二九 田中(郁) 田中(鉄)
 - 三〇 土屋 永杉
 - 〇一 岡 北代 志賀 森
 - 〇二 幸田 長田
- 渡邊紫郎賞(一六) 記

編集後記

今号は北代先輩に大変無理を申しまして原稿を頂きました。4ステにかける意気込みを皆で受け止め、是非成功させたいものです。高崎市婦女合唱団の受け入れ準備が始まります。秋の諸行事目白押しの中ですが、何とか喜んで賞える形を作りたいものです。これこそどうしても多数のOBの力が必要ですよ。海外演奏旅行先がうちに決まりました。これからは、一年後の五月を見据えての活動ともなりそうです。頑張らしましょう。(E)